

Every day is a New Day





奈良教育大学附属中学校 育桜会だより

VOL.
120
Dec, 2024

STORY

全力で学校行事に取り組む附中生

学校長 八重 幸史

育桜会会員の皆様には、本校の教育活動にご理解、ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

今年度上半期の学校行事を振り返ってみたいと思います。

3年生の修学旅行は、5月に2泊3日の行程で、水俣・阿蘇方面で実施しました。1日目の水俣では、水俣病についての事前学習をもとに現地のガイドの方から詳しくお話を伺い、学習を深めました。生徒たちの説明を熱心に聞き、メモをとり学習する姿に附中生の素晴らしさを感じました。

スポーツデイは、6月14日に開催されました。当日は、雲一つない晴天の中、生徒たちは熱戦を繰り広げました。それぞれの生徒が自己記録の更新を目標に、全力で取り組んでくれました。

アースデイは、地球や環境のことを考え、美しい自然環境に感謝する1日とされています。生徒たちがアースデイに向けて準備する時間も地球や環境を考える時間であったと思います。当日は、外部からも多くの方に参加していただき、アースデイの輪が広がり、本校に新しい歴史が加わりました。

本校生は、学校行事を通して色々な力を身に付け成長しています。



EVENT

6/14 スポーツデイ



お昼ご飯



青空に映える応援旗

今年度のスポーツデイは、とても暑い中での開催となりました。

その中でも子どもたちはどの種目に対しても全力で取り組み、また大きな声で応援する姿はとても輝いていました。

それはきっと保護者にも届いたのではないでしょう。



白熱のリレー！



文化体育部主催 PTA競技

奈良教育大学講堂で行われた文化部主催の芸術鑑賞会は、希望する保護者も参加できます。

なお、本会は教育後援会から補助をいただいています。

今回の演目は「遙かなる甲子園」。

聴力障害をもつ子どもたちと彼らを支える先生や保護者たちが、甲子園への夢を叶える為、「高校野球連盟」への加入を認めてもらうまで、沢山の困難に挑戦し共に乗り越えていくお話でした。

感動と共に多くのことを学ぶ機会となりました。

教育後援会の方と共に
PTAでは受付のお手伝いを
しました。



当日は天候に恵まれ、附中には先生方および生徒だけでなく、来校された一般の方の姿も多く見られ、とても賑わっておりました。

今年から名前が煌星祭から附中アースデイ（煌星祭）となり、様々に工夫をされた展示、見応えのあるパフォーマンスだけでなく、参加型の企画も増えるなど大きな変化がありました。

更に生徒たちの学習を通し交流のあった企業も多数ご参加いただいた事で、今までとは異なる新しい形の文化祭となったのではないのでしょうか。来年も開催が楽しみです。



楽しい一日となった附中アースデイですが、実は準備の為に先生方や生徒だけでなく、27名の保護者の方にボランティアとしてご協力いただきました。

その中の一つ、バザーでは「生活部」、「生徒会本部」と協力し、値付け作業や当日のレジ業務を行いました。

今回参加された保護者の中には、他学年の保護者や先生方、生徒と交流する事ができ、また学校の様子もより知れて良かったと仰っている方もおられました。

今後もボランティアとして参加できる行事があれば、これまでとはまた違う形での交流が深まるかもしれません。

EVENT

10/19 オープンスクール

あいにくの雨にも関わらず、保護者と小学生、合わせて300名を超える方が来校されました。

実際の授業をご覧いただいたり、体育館では生徒会と協力しての説明会が行われました。

在校生の保護者の方はボランティアで、体育館前での受付や資料配布、校内の案内などを担当しました。



ACTIVITY

6/14,10/23 立哨活動



生活安全部による立哨活動は、通常の登下校だけでなく、スポーツデイの日に競技場から帰宅する生徒たちの為にも実施されました。

安全を見守るだけでなく、危険と思われる場面については、情報の共有も行われたので、子どもたちの為にも、今一度家庭内でもマナーやルールを確認してみてもいいかもしれません。

ACTIVITY

10/31 奈良団扇づくり

日本で唯一の奈良団扇専門店の池田含香堂の池田匡志さんをお招きし、文化体育部主催の団扇づくりの体験会が行われました。

奈良団扇は透し彫りの美しい見た目だけでなく、骨組みが一般的な団扇の倍以上ある為、よくしなり良い風が起るそうです。

そして団扇を作りながらお聞きした話の中で「奈良には何もないとよく言われるが、決してそんなことはなく、奈良団扇など伝統工芸品が多くあることを、大人が子どもたちに伝えてほしい」が特に印象に残りました。

これを機に、子どもたちが奈良をより知るキッカケを「何もない」と言い切つてなくすのではなく、一緒に考えてみるのも良いのかもしれません。



EDITOR'S NOTE

編集後記

昨年度に引き続き今年度も広報部員に手を挙げたところ、まさかの部長という大役をお受けすることとなりました。

不安に思うこともありましたが、部員のみなさまに恵まれ、120号を発行することができたこと、心より感謝しております。

今年度は学校のSNSでは見られない子どもたちの頑張りや育桜会の活動の様子をお伝えしたいと考えており育桜会だよりをご覧になった保護者のみなさまが「次年度は私も育桜会で楽しんでみようかしら」なんて思っただけだと嬉しい限りです。

最後に120号を作成するにあたり、ご協力いただきました生徒の皆さま、先生方、評議員会の皆さまにお礼を申し上げます。今後ともよろしくお願いいたします。

広報部 部長 中野史子

